

ソーシャルメディア利用に関する対応について

Facebook、twitter、mixi、さらに最近では、SNS 機能を備えた LINE など、いわゆるソーシャルメディアの利用者が増えています。その問題点・危険性を十分に理解しないまま利用した場合、思わぬトラブルに巻き込まれ、名誉を傷つけられ精神的ダメージを受けたり、あるいは逆に相手を傷つけることもあり得ます。その主な問題点・危険性は以下のように考えられます。

- ① ソーシャルメディアの土台となっているインターネットは世界中の人が見えています。公開していれば当然のことですが、一部のメンバーだけの非公開であったとしても、メンバーの一人から外界へ漏れてしまうことが往々にしてあります。そして、一旦、漏れてしまった情報は、全世界を駆け巡り、もはやコントロールすることはできません。
- ② インターネットの情報は、様々なコンピュータに書き込まれた情報に関する記録としていつまでも残ります。これらをすべて削除することは大変困難であり、実質上不可能です。したがって、インターネットにアップする情報は永久に残っても差し支えないものだけにしなければなりません。
- ③ 上記①、②を考えあわせると、当初の思いとは全く異なる利用、つまり、悪用される可能性も考えておかななくてはなりません。写真等は改造されることや、近所の写真から住所を特定されることもあります。
- ④ 一般的に言われていることとして、勝手に撮られた写真を無断で誹謗中傷するコメントとともにアップされたり、LINE などでは、グループの一人だけを強制的に退会させたり、一人を残してメンバーが一斉に退会し、新しいグループを作ったりするなど、いじめの温床になることも少なくありません。
- ⑤ 最近では、なりすましで外部から侵入・攪乱し、グループを壊滅させるという犯罪も増えているようです。

上の①～⑤のように、多くの問題点や危険性をはらんでいます。しかし、それを理解した上でなお利用する場合は、自己責任となりますが、ソーシャルメディアの利用がますます盛んになり、その問題点・危険性が大きくなっていくことを鑑みて、学校としても可能な範囲で注視していくことといたします。具体的には、ネットパトロールの専門企業の協力のもと定期的に検索し、問題と思われる場合には保護者の方へ連絡し、内容によっては指導の対象といたします。